



本年度から小学校で全面実施されている小学校学習指導要領（平成29年告示）においては、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が重視されています。新型コロナウイルス感染拡大防止のための配慮を行いながらそれを進めていくにはどのような工夫ができるでしょうか。学校再開にあたり、限られた時間の中で、学習指導要領に定める内容が効果的に指導できるよう、2号にわって、「ICT活用による学びの保障」について考えて行きたいと思えます。（Eジャーナル225号でも同様の取組を紹介しています。）

## 「主体的・対話的で深い学び × ICT」どのようにして？ －授業設計診断の4項目編－



学習の成果	解決したい課題や問い
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学びを可視化し、振り返りを支援</li> <li>・学習の過程、成果物の保存性を高める</li> <li>・生じた新たな疑問への主体的な学習環境の提供</li> </ul> <p>&lt;実践例&gt;</p>  <p>次時以降も、このデータを開覧でき、子ども自身が今までの学びを実感できます。</p> <p>学習の過程、成果物の保存性を高めることが可能です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像、データの提示による動機付け</li> <li>・課題や問いの「理解」「共有」を効率化</li> <li>・現状・実態把握のためのネット利用</li> <li>・教材研究におけるネット利用</li> </ul> <p>&lt;実践例&gt;</p>  <p>本時の課題を、どの子どもにもわかりやすく伝えることができます。</p> <p>作品等を拡大することで、課題を焦点化しています。</p>
対話と思考	考えるための材料
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の考えを可視化し、思考の整理、深化を可能にする</li> <li>・発表、情報交換の支援</li> <li>・授業の進行を効率化し、時間を確保</li> <li>・遠隔地との通信による対話</li> </ul> <p>&lt;実践例&gt;</p>  <p>電子黒板では、説明したい部分を焦点化し、分かりやすく説明できます。</p> <p>発表、情報交換の支援が可能です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多様な資料の提供を可能にする</li> <li>・子どもの手元により画質の資料を提供</li> <li>・「反転学習」による事前学習の支援</li> </ul> <p>&lt;実践例&gt;</p>  <p>複数の子どもで、書き込みができ、考えを共有できます。付箋を貼ることもできます。</p>

**サポートブック(P56)「授業設計診断ICT活用編」もあわせてご活用ください！**

(今回は小中学校支援課が担当しました)